

IV. B トロイア戦争とアキレウス

1. トロイア戦争の神話

- (1) パリスの審判 牧人アレクサンドロス —— 捨て子の災いモチーフも
人間が神を判定するという逆転
- (2) ヘレネの出奔 いろいろな動機付けあり —— トロイア遠征の moral ambiguity
かつて求婚した者たちの誓約 —— 2大英雄の逃避
- (3) アガ멤ノンとイピゲネイアの犠牲 アルテミスの要求に曖昧さの問題あり
イピゲネイアの運命にも曖昧さあり
- (4) 遠征の遅れ ミュシアでの戦い、アウリスでの無風、テネドス島での戦い
- (5) アキレウスの怒りの顛末 —— その方向の転換、燃焼、抑制
(戦争の残虐を離れて公的儀礼へ)
- (6) アキレウスの死 アキレウスの油断(?) cf. ペンテシレイアへの恋
武具の審判 → アイアスの物語へ
- (7) トロイア陥落 もうひとつの予言 —— ピロクテテスの弓、パラディオンの略奪
木馬の計略
- (8) 生き残るトロイア人 アエネイアス、女子供(ヘカベ、アンドロマケ、カサンドラ/
ポリュクセネ、アステュアナクス)、(プリアモス)

Epic Cycle

『イリアス』『オデュッセイア』のほかに
『キュプリア』
『アイティオピス』
『小イリアス』
『イリウ・ペルシス』
『ノストイ』
『テレゴニア』

2. アキレウス

- ・ 総大将アガメムノンの不正に怒る → 戦列から退く
- ・ 親友パトロクロスの死に怒る → 戦列に復帰
- ・ 怒りにまかせて命をかけて戦う
- ・ しかし老人の嘆願に人間性を取り戻す
- ・ ギリシア軍で一番強くて「美しい(カロス)」
- ・ 女神と人間との子であるが、ステュクスの水により踵以外は不死身

○アキレウスを動かしているもの=己の命をかけても名誉を求め、守ることをよしとする
Heroism + パトロクロスへの友情

○神話的部分=アテナ女神の干渉でアガメムノンへの怒りをこらえる
パトロクロスの復讐は自分の死を意味する
神授の武具—その美しさ—無敵の強さ
ヘルメスの導きでプリアモスが面前に突如現れ嘆願

次回 トロイア戦争後半とオデュッセウス Bulf. 295-304, 305-329 Apollod. 193. 2-196. 7, 202. 11-210. 13
--

資料

『イリアス』より

- ・ アガメムノンに対する怒り Ilias 1. 184-222
- ・ アキレウスの美貌 Ilias 2. 674
- ・ アキレウス再出陣の決意 Ilias 18. 94-126
- ・ アキレウスの戦士としての光輝 Ilias 19. 364-80
- ・ 息子の死体を貰い受けに敵陣へ赴く老王プリアモスをヘルメスが導く Ilias 24. 440-68